

第1回「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査」
貴学協会の会員の皆様への回答依頼のお願い（リマインド）

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences, GEAHSS）では、日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会・お茶の水女子大学・東京大学の共同で、「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査」を実施しており、過日、調査への回答依頼を差し上げたところです。

2018年7月20日の段階で、回答数が総計1,155に留まっています。9月末が締切とはいえ、大規模アンケート調査として適切な母数を得られるかどうか懸念されています。たとえば、理系の男女共同参画調査は、2016年度（96団体）は18,159サンプルを集めました。現在ギースは54学会（2018年7月末現在）を数えますので、各学協会の規模が理系より小さいとはいえ、現在総計の10倍ほどの母数を整え、分析へと進めたいというのが、ギース（並びに学術会議総合ジェンダー分科会）の希望です。

ギース加盟の各学協会におかれましても、人文社会科学系として初めてとなる今回の大規模調査は、今後の提言につながる重要な機会になると考えております。まだご回答いただいていない会員の皆様には、ぜひ下記URLからご回答いただけますよう、重ねてお願いいたします。また、そのプロセスで調査画面に不備等があれば、ご連絡ください。締切は2018年9月末です。どうかよろしく願いいたします。

猛暑厳しき折、お身体くれぐれもご自愛ください。

*人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査 URL

<https://panelsrv.p.u-tokyo.ac.jp/v2/?r=30NxbM0we5ySoUsCHSJl>

*以下のQRコードからも画面に入ってください。



調査実施企画委員

永瀬 伸子（お茶の水女子大学教授、日本経済学会、日本人口学会）

上田 貴子（早稲田大学教授、日本経済学会）

仲 真紀子（立命館大学教授、法と心理学会、日本心理学会）

本田 由紀（東京大学教授、日本教育学会、日本教育社会学会、日本社会学会）

中西 祐子（武蔵大学教授、日本社会学会、日本教育社会学会）

大多和 直樹（帝京大学教授、日本教育社会学会）

調査実施主体

日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会（委員長：永瀬伸子）

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（委員長：井野瀬久美恵）

甲南大学教授、日本学術会議連携会員、第一部総合ジェンダー分科会委員）

お茶の水女子大学

東京大学

連絡先：geahss.office@gmail.com